

◆山形県環境教育行動計画に基づく主な施策の実施状況について 《平成29年度事業実績》

施策体系	事業名	事業内容	担当課
1 学校、地域、社会等幅広い場における環境教育			
(1) 学校における環境教育			
1	環境教育基盤運営事業 環境教育普及促進事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境資源や地域の人材を指導者として活用し、様々な環境分野に関して、子どもの考える力や行動する意欲を養う、学ぶ機会を提供する環境学習プログラムを3テーマ作成した。内容については、外部有識者、環境アドバイザー、教育関係者からなるワーキンググループで検討を行った。 環境科学研究センターを学校、地域等で利用していただけるよう関係者へ周知した。 	環境企画課 環境科学研究センター
2	環境教育基盤運営事業 地球にやさしい3R推進人づくり事業 (やまがた環境展への参加による交流機会の提供)	環境教育について学ぶ大学生に「やまがた環境展2017」での環境学習支援団体ブース出展に協力を依頼し、環境学習支援団体等との交流機会を提供した。	環境企画課
		将来の3R推進の中心となる小中学生を対象に物の大切さやごみ減量化への理解を深めるため、大学生の柔軟な発想を取り入れたワークショップを開催し、若い世代の3R推進意識の醸成を図った。	循環型社会推進課
3	森林・自然環境学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 森林環境学習副教材「やまがたの森林」、ガイドブック及びポケット版教材「森のたんけん手帳」を作成・提供するとともに、教材の活用方法等に係る情報収集を実施した。 やまがた木育推進委員会を設置・開催し、やまがた木育推進方針を策定した。 	みどり自然課
4	山形県環境教育指針の普及	<ul style="list-style-type: none"> 山形県環境教育指針の周知を図った。 本指針に基づき各学校において全体計画・学習指導計画が策定されるよう支援した。 	義務教育課 高校教育課 教育センター
5	高校生節電コンテスト	県立高等学校の実態に応じた節電の取組みによる使用電力量の削減割合(学校の電力使用料を対28年度比1.0%削減)や取組状況を審査して、優れた成果を上げた上位校を表彰した。	高校教育課
6	新エネルギー推進事業	原子力・エネルギーに係る教育(理科の授業等で使用する実験・実習機器購入)の補助を行った。(山形東、興譲館、酒田東、寒河江、長井、新庄北、山形工業、村山産業、鶴岡中央)	高校教育課
7	私立学校一般補助金のうち高等学校特色分加算(環境教育の推進)	私立学校一般補助金の「特色分加算」により、リサイクルボックス設置や古紙回収の取組み、太陽光発電設備設置などにより環境教育に積極的に取り組む私立高等学校を支援した。	学事文書課
(2) 学校の教職員の資質の向上			
8	環境教育基盤運営事業	市町村教育委員会新任視察研修を受け入れた。また、小中学校教育研究会研修会において、教員向けに、環境科学研究センターから講師を派遣し指導した。	環境科学研究センター
9	出前サポート及びフォローアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> 各学校のニーズに合わせた研修会を実施できる体制を構築した。また、学校が活用できる環境教育プログラムをNPO法人が検証を行う際に協力した。 教職2年次・3年次研修(フォローアップ研修)において、NPO法人と協力しながら「ESDの授業づくり講座」を実施した。 	教育センター

◆山形県環境教育行動計画に基づく主な施策の実施状況について 《平成29年度事業実績》

施策体系	事業名	事業内容	担当課
10	カリキュラムサポート事業	<ul style="list-style-type: none"> ・出前サポートとして、環境教育についての研修会へ、教育センター指導主事を講師として派遣し、各学校教職員の環境学習の授業づくりを支援できるような体制を用意することを継続して実施した。 ・電話サポート・資料提供サポートとして、各学校からの電話やメールでの問い合わせや質問、相談に対応できるような体制を構築した。また、環境教育関連の図書資料を充実させ、図書の閲覧や貸出を行った。 	教育センター
(3) 家庭や地域等幅広い場における環境教育の推進			
11	地球温暖化対策推進体制整備事業 省エネルギー対策推進事業	「笑顔で省エネ県民運動」の展開に合わせて、関係団体や地球温暖化防止活動推進員と連携し、家庭、事業所及び自動車のアクション事業への県民の参加を促進し、省エネ、節電、エコドライブ等の取組みを通して地球温暖化防止の低炭素社会の構築の意識を醸成した。	環境企画課
12	水資源保全推進事業	森林の水資源涵養機能の重要性を啓発し、水資源保全地域の制度や指定状況について周知するため「やまがた環境展2017」において、パネルの展示や模型を使った森林の水資源涵養機能のデモンストレーションを実施した。	環境企画課
13	環境教育基盤運営事業	「環境やまがた大賞」として優良取組み事例の顕彰（大賞1団体、奨励賞1団体）を実施し、活動の事例発表、ホームページ等での周知を通し、環境保全活動等の取組みを促進した。	環境企画課
14	環境教育基盤運営事業 環境教育普及促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境資源や地域の人材を指導者として活用し、様々な環境分野に関して、子どもの考える力や行動する意欲を養う、学ぶ機会を提供する環境学習プログラムを3テーマ作成した。内容については、外部有識者、環境アドバイザー、教育関係者からなるワーキンググループで検討を行った。【再掲】 ・環境科学研究センターを学校、地域等で利用していただけるよう関係者へ周知した。【再掲】 	環境企画課 環境科学研究センター
15	親子で楽しむ環境科学体験デー	6月25日（日）に環境科学研究センターにおいて、燃料電池S L型電車等（村山産業高校製）の乗車体験、リサイクル工作体験、希少種オキナグサ観察、自動車部品のリサイクル製品展示などの環境学習を実施した。（来場者436名）	環境科学研究センター
16	水生生物調査	水生生物調査（河川において水生生物の生息状況を観察することにより行う水質調査）の実施支援を行うとともに、その調査結果をまとめ山形県の河川水質マップ」を作成配付した。	環境科学研究センター
17	酸性雨調査	県内の小中学校等に酸性雨一斉調査の参加を呼びかけ、酸性雨の調査を行うとともに、体験学習会や交流会を開催した。	環境科学研究センター
18	海岸漂着物対策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・飛島を舞台とした体験型環境教育事業を6回実施（参加者186名）した。 ・陸域部におけるごみ削減の普及啓発としてスポGOMI大会を16回実施（参加者1147名）した。この他、本事業をきっかけとして、スポGOMI大会の趣旨に賛同した団体による開催が4回（参加者285名）あった。 ・ボランティア海岸清掃の支援、イベント、釣り場における普及啓発事業を実施した。 ・漂着物問題の普及啓発及びボランティアリーダー育成を目的とした、県内外の大学生による海岸清掃・研修・交流事業を実施した。（3泊4日、150名） 	循環型社会推進課

◆山形県環境教育行動計画に基づく主な施策の実施状況について 《平成29年度事業実績》

施策体系	事業名	事業内容	担当課
19	循環型社会形成推進事業 地球にやさしい3R推進人づくり事業	<p>・ごみゼロやまがた県民運動として、家庭で行えるごみの削減方法をまとめた「ごみゼロやまがた推進BOOK」などを県内4カ所の大型商業施設で配布する街頭啓発活動やごみゼロ功労者表彰などを実施した。また、やまがた環境展において、3R推進トークショーやおもちゃの交換会かえっこバザールを実施し3Rの情報発信を行った。</p> <p>・10月28日(土)、29日(日)に山形ビッグウイングで「やまがた環境展2017」を開催し、企業・団体による環境保全分野に関するブースを設け、広く製品・技術・取組みについてPRするとともに、ワークショップなど体験的企画を重視した内容の事業を行った。</p> <p>・将来の3R推進の中心となる小中学生を対象に物の大切さやごみ減量化への理解を深めるため、大学生の柔軟な発想を取り入れたワークショップを開催し、若い世代の3R推進意識の醸成を図った。また、一般家庭から出るゴミの排出抑制を図るため、「環境にやさしい料理レシピコンテスト」を開催し、やまがた環境展において人気レシピの表彰、人気料理のふるまい、人気レシピ集の配布を行った。</p>	循環型社会推進課
20	県立自然博物館管理運営事業	優れた自然に親しみながら、「自然のしくみ」や「自然と人間のかかわり合い」等について理解を深めるとともに自然に親しむマナーを身につけてもらい豊かな人間性の育成と自然保護思想の普及啓発を図る目的で設置された県立自然博物館の管理運営を、指定管理者に委託した。	みどり自然課
21	生物多様性戦略推進事業	改訂レッドリストへの掲載種等、本県の希少種の写真展を実施し、本県の貴重な生き物の魅力や価値を県民に伝えた。	みどり自然課
22	みどり豊かな森林環境づくり推進事業 森づくりサポート体制推進事業	市町村や森づくり活動団体等が主体的に取り組む森づくり活動、自然環境保全活動、森や自然とのふれあい活動及び木に親しむ環境づくりを支援した。 また、やまがた公益の森づくり支援センターと連携し、森づくり活動に関する情報収集や提供、団体への支援を行うなど、森づくり活動の総合的にサポートした。	みどり自然課
23	むらやま版・木のある生活推進事業	<p>・身近に木に触れる体験を通じて、素材としての木の良さや木を使うことの大切さを伝えることにより、県民に地域材利用の意義や森林への理解を深めてもらい「県民参加の森づくり」の機運を高める取組みを行った。</p> <p>・体験教育プログラムの開発と試行等</p> <p>○プログラム開発 「地元の木で箸づくり」(木育体験ブックNo.1)</p> <p>○試行 東原幼稚園、神町幼稚園</p>	みどり自然課 (村山森林整備課)

◆山形県環境教育行動計画に基づく主な施策の実施状況について 《平成29年度事業実績》

施策体系	事業名	事業内容	担当課
24	BEST！森づくりリーダー育成事業	・指導者の養成を目的として、必要な基礎的知識と技術の習得を目指す講座を開催した。（春と秋、各1回（2日/回）、冬に1回（1日）＝計5日間） ・養成講座の参加者及び森づくり活動実施団体等を対象に、最上地域の森林・林業に関する先進的取組みを現地で体験する交流研修会を最上町で開催した。（1回）	みどり自然課 （最上森林整備課）
25	おきたま源流の森づくり活動推進事業	・森づくり活動フィールドの環境整備（活動準備作業） ・インタープリター（森の案内人）の養成を目的として、必要な基礎的知識と技術の習得を目指す講座を開催。（総合講座：6/24～25 専門講座：9/2 10/28）	みどり自然課 （置賜森林整備課）
26	出羽庄内公益の森づくり事業	庄内の海岸砂丘林を多様な主体の協働により保全し、将来に引き継ぐことを目的とし、森林ボランティア団体との意見交換、森林ボランティア活動の支援、森林環境教育の支援などに継続して取り組んだ。	みどり自然課 （庄内森林整備課）
27	学校・家庭・地域の連携協働推進事業 （市町村補助）	「放課後子ども教室」において、自然体験活動に関わるプログラムの導入を促すために出前講座等の情報提供を行った。	文化財・生涯学習課
28	少年自然の家における環境教育	少年自然の家の利用者に対し、ニーズに応じた自然体験活動体験プログラムの提供を行った。	文化財・生涯学習課
29	県立博物館における環境教育	「自然学習会」、「自然史セミナー」、「植物観察会」等各種講座や、「森の妖精－不思議な生き物、粘菌－」等の特別展を開催した。	文化財・生涯学習課
30	飛島を舞台とした青少年の自立を促す環境教育事業	・青少年の自立支援のための個に応じた体験型環境教育プログラムの改善を行う。 ・飛島を教材とした宿泊型・体験型の環境学習を実施する。 ・体験型環境教育プログラムの有効性の検証を行う。 生徒13名と支援者5名が参加した。	文化財・生涯学習課
31	未来の科学人材育成事業	・公民館等が主催する科学教室にサイエンスインストラクターを派遣した。（派遣数30回、参加者計4,133名） ・小中学生が科学に興味関心を持ち科学の楽しさを体験できるバスツアーを開催した。（参加者36名） ・科学教室等を開催している県内の団体との情報交換、連携を推進した。	工業戦略技術振興課
32	やまがた的グリーンツーリズム推進事業 教育旅行推進事業	・山形県グリーン・ツーリズム推進協議会を通じて本県におけるグリーン・ツーリズムを推進するとともに、受入体制整備や観光誘客促進等の事業を展開した。 ・山形県の特徴ある教育旅行を推進するため、山形県教育旅行誘致協議会と連携しながら、教育旅行の誘致を行った。	観光立県推進課
33	子ども農山漁村交流プロジェクトによる受入体制整備の支援	小学校が行う農山漁村での長期宿泊体験活動の県内受入を促進するため、国が実施するホームページでの情報発信等を推進した。	観光立県推進課

◆山形県環境教育行動計画に基づく主な施策の実施状況について 《平成29年度事業実績》

施策体系	事業名	事業内容	担当課
34	社会貢献活動促進基金活用事業	県民等からの寄附金等をやまがた社会貢献基金に積み立て、その基金を活用し、地域や社会の課題解決に取り組むNPOなどの社会貢献活動を支援した。 団体支援助成事業で2団体、協働助成事業テーマ希望型（環境分野）で2団体、協働助成事業一般型で2団体が事業を実施した。	県民文化スポーツ課
35	食農体験推進事業	地域や学校の要請に応え、子どもたちの農業体験や郷土料理の伝承教室等へ専門的知識を有する指導者を派遣し、体験機会の充実を支援した。 派遣回数：15回	6次産業推進課
36	多面的機能支払交付金	農業の持続的発展と、農業・農村の多面的機能の発揮に向け、農地や水路などの地域資源を農業者だけでなく地域共同で保全する主体的な地域づくりに対する支援を行った。 (平成29年度 活動組織880)	農村計画課
37	下水道教室の実施	県内4箇所浄化センターにおいて、夏休み親子下水道教室（8月1日～8月4日、参加者123名）、浄化センター施設見学（随時）及び下水道出前教室（随時）を開催した。	下水道課
38	マイロードサポート事業	県管理道路の美化や歩道の除雪等を主体的に行う484団体に対し、活動費の助成や表示板の設置を通じた支援を実施した。	道路保全課
39	ふるさとの川愛護活動支援事業	市町村を通じ、地域住民や企業に対してふるさとの川愛護活動事業の周知・宣伝を行い、新規団体の開拓を図った。また、県内4ブロックで交流会を開催し、既存団体の交流促進を図り、活動の活性化を支援した。	河川課
40	きれいな川で住みよいふるさと運動	参加者数の水準を維持するため、市町村や最上川フォーラム等と連携しながら県民に対して積極的な参加を呼びかける。 また、平成29年度も県内の小学校に対し、河川学習用品の提供を行った。	河川課
41	港湾施設管理運営費	リサイクルポートに指定されている酒田港の見学会や海洋センターへの展示等を通じ、循環型社会について学習できる機会を提供した。	空港港湾課
42	施設見学の実施	8/5（土）、金山町を会場に、環境学習と建設中の神室発電所（水力発電）と民間施設が行っている雪を利用した冷房システムの雪室と木質バイオマスボイラー設備の見学を実施した。（参加者16名）	企業局電気事業課

◆山形県環境教育行動計画に基づく主な施策の実施状況について 《平成29年度事業実績》

施策体系	事業名	事業内容	担当課
(4) 人材の育成・活用			
47	地球温暖化対策推進体制整備事業 環境教育基盤運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・環境カウンセラーの資格をもつ方を環境アドバイザーや地球温暖化防止活動推進員に委嘱し、活用を図った。 ・地域において、地球温暖化防止に向けた身近な普及啓発活動（個別アドバイス・出前講座・各種事業への参加協力等）を担う地球温暖化防止活動推進員を公募し委嘱した。 	環境企画課 環境科学研究センター
48	環境教育基盤運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・環境NPO法人が主催し、県が後援した「やまがた環境教育推進シンポジウム」（平成30年2月27日開催）に環境学習支援団体や他の実践団体、市町村職員等が出席し、事例発表や意見交換を行った。 	環境企画課 環境科学研究センター
49	やまがた絆の森づくり推進事業	山形大学と連携し、大学生の社会人力育成とあわせた環境保全活動の機会を提供した。	みどり自然課
50	森づくりサポート体制推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・やまがた公益の森づくり支援センターにて、森づくりの指導者となりうる地域の人材を発掘し、同センターが運用する人材バンクへ登録することで、円滑な人材活用を図った。 ・やまがた公益の森づくり支援センターと連携し、森づくり活動に関する情報収集や提供、森づくりボランティアへの支援を行うなど、森づくり活動を総合的にサポートした。【再掲】 ・森づくり報告会を開催し、森づくり活動を行う団体、市町村、企業間の情報・意見交換会の機会を創出した。 	みどり自然課
(5) プログラムの整備			
51	環境教育普及促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境資源や地域の人材を指導者として活用し、様々な環境分野に関して、子どもの考える力や行動する意欲を養う、学ぶ機会を提供する環境学習プログラムを3テーマ作成した。内容については、外部有識者、環境アドバイザー、教育関係者からなるワーキンググループで検討を行った。【再掲】 	環境企画課 環境科学研究センター
52	森林・自然環境学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境学習副教材「やまがたの森林」、ガイドブック及びポケット版教材「森のたんけん手帳」を作成・提供するとともに、教材の活用方法等に係る情報収集を実施した。【再掲】 ・やまがた木育推進委員会を設置・開催し、やまがた木育推進方針を策定した。【再掲】 	みどり自然課
(6) 情報の提供			
53	環境教育基盤運営事業	県のHP・ブログ・ツイッターを活用し、環境に関する情報発信を行った。	環境企画課 環境科学研究センター
54	山形県環境教育指針の普及	教育センターのWebページに環境教育指針及びその概要版リーフレットを掲載した。	義務教育課 高校教育課 教育センター

◆山形県環境教育行動計画に基づく主な施策の実施状況について ≪平成29年度事業実績≫

施策体系	事業名	事業内容	担当課
(7) 各主体の連携			
55	地球温暖化対策推進体制整備事業 省エネルギー対策推進事業	「笑顔で省エネ県民運動」の展開に合わせて、関係団体や地球温暖化防止活動推進員と連携し、家庭、事業所及び自動車のアクション事業への県民の参加を促進し、省エネ、節電、エコドライブ等の取組みを通して地球温暖化防止の低炭素社会の構築の意識を醸成した。【再掲】	環境企画課
56	環境教育基盤運営事業	・環境NPO法人が主催し、県が後援した「やまがた環境教育推進シンポジウム」（平成30年2月27日開催）に環境学習支援団体や他の実践団体、市町村職員等が出席し、事例発表や意見交換を行った。【再掲】	環境企画課 環境科学研究センター
57	循環型社会形成推進事業	平成29年5月に「ごみゼロやまがた推進県民会議総会」を開催し、ごみゼロやまがた推進プランの達成状況の確認や検証を行うとともに、県民運動の展開方針等に関して意見交換を行った。また、平成30年2月、3月に県民部会・産業部会を開催した。	循環型社会推進課
58	やまがた緑県民会議	県民各層の代表者で構成する「やまがた緑県民会議」を開催し、やまがた緑環境税活用事業に対する評価、効果の検証、施策の提案等を行った。	みどり自然課
(8) 環境教育の更なる改善に向けた調査研究			
59	環境教育普及促進事業	環境学習プログラムの作成にあたり、外部有識者、環境アドバイザー、教育関係者からなるワーキンググループで検討を行った。【再掲】	環境企画課 環境科学研究センター
2 職場における環境保全活動、環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組			
60	山形県環境保全協議会との協働事業	・山形県環境保全協議会と連携して講演会やCO ₂ 削減セミナーを開催し、環境や省エネに関する情報を提供及び共有を図った。 ・「山形県環境保全推進賞」（保全協主催）の周知等を行い、環境保全活動の普及を促進した。	環境企画課
61	山形エコアクション2.1認証取得の促進	地域事務局と連携のうえ認証取得の推進を図った。	環境企画課
62	省エネルギー対策推進事業	登録事業者が省エネの取組計画を立て、取組みを実践し、取組結果を報告し、次の改善につなげるPDCAサイクルにより省エネなどの取組みを進めた。	環境企画課
63	エネルギー使用合理化推進事業	実地確認や省エネ研修会の開催等により、県関係施設における省エネの普及啓発・推進に努めた。	環境企画課
64	環境教育基盤運営事業 環境教育普及促進事業	多様なニーズに合わせた講師派遣や相談対応等を環境科学研究センターに一元化し、環境学習機会の利用促進を図った。	環境企画課 環境科学研究センター

◆山形県環境教育行動計画に基づく主な施策の実施状況について 《平成29年度事業実績》

施策体系	事業名	事業内容	担当課
65	やまがた絆の森づくり推進事業	企業が取り組んだ森づくり活動をCO ₂ 吸収量等に換算して認証した。	みどり自然課
66	森づくりサポート体制推進事業	森づくり報告会を開催し、森づくり活動を行う企業間の情報・意見交換会の機会を創出した。【再掲】	みどり自然課
3 拠点機能の拡充			
67	環境教育基盤運営事業 環境教育普及促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・環境科学研究センター環境情報棟において、環境に関する相談対応や情報提供、図書等の資料貸出を行ったほか、環境アドバイザーや地球温暖化防止活動推進員の派遣調整を行い、環境教育拠点機能の充実を図った。 ・県のHP・ブログ・ツイッターを活用し、環境に関する情報発信を行った。【再掲】 ・環境環境に関する課題を題材とし、身近な環境資源を活用して環境について学ぶ環境学習プログラムを3つ作成した。内容については、外部有識者、環境アドバイザー、教育関係者からなるワーキンググループで検討を行った。【再掲】 ・作成した学習プログラム及び学習教材の活用について、継続して、周知を図っていく。 	環境企画課 環境科学研究センター
68	県立自然博物館管理運営事業	優れた自然に親しみながら、「自然のしくみ」や「自然と人間のかかわり合い」等について理解を深めるとともに自然に親しむマナーを身につけてもらい豊かな人間性の育成と自然保護思想の普及啓発を図る目的で設置された県立自然博物館の管理運営を指定管理者に委託した。	みどり自然課
4 体験の機会の場の認定			
69	環境教育基盤運営事業	環境学習支援団体として新規認定2団体を含む36団体を認定し、県のHP等により情報提供を行い、活用促進を図った。	環境企画課
5 情報の積極的公表			
70	環境白書の作成	山形県環境白書を作成し、県のHPで公表するとともに、県内学校等へ配布した。	環境企画課
71	環境教育普及促進事業	県のHP・ブログ・ツイッターを活用し、環境に関する情報発信を行った。【再掲】	環境企画課 環境科学研究センター
6 国際的な視点での取組			
72	環境教育普及促進事業	ネイチャーゲーム指導資格のある環境アドバイザーを委嘱し、要望に応じ指導者として派遣できるようにした。	環境科学研究センター
73	フォローアップ研修	・教職2年次・3年次研修（フォローアップ研修）において、NPO法人と協力しながら「ESDの授業づくり講座」を実施した。【再掲】	教育センター